

電気通信標準化諮問委員会(TSAG) 会合の結果について

令和3年2月16日
事務局

世界電気通信標準化総会(WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

- ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門(ITU-T)の総会であり、4年に1回開催。
- 前回総会(WTSA-16)は2016年10月25日～11月3日に、ヤスミン・ハマメット(チュニジア共和国)にて開催され、全体で約700名、日本から32名が参加。
- 次回総会(WTSA-20)は、当初2020年11月17日～27日にハイデラバード(インド)で開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により2022年3月1日～9日へ延期。
- 併せて、2022年のWTSA-20までに電気通信標準化諮問委員会(TSAG)を3回(2021年1月、10月、2022年1月)開催することに合意。

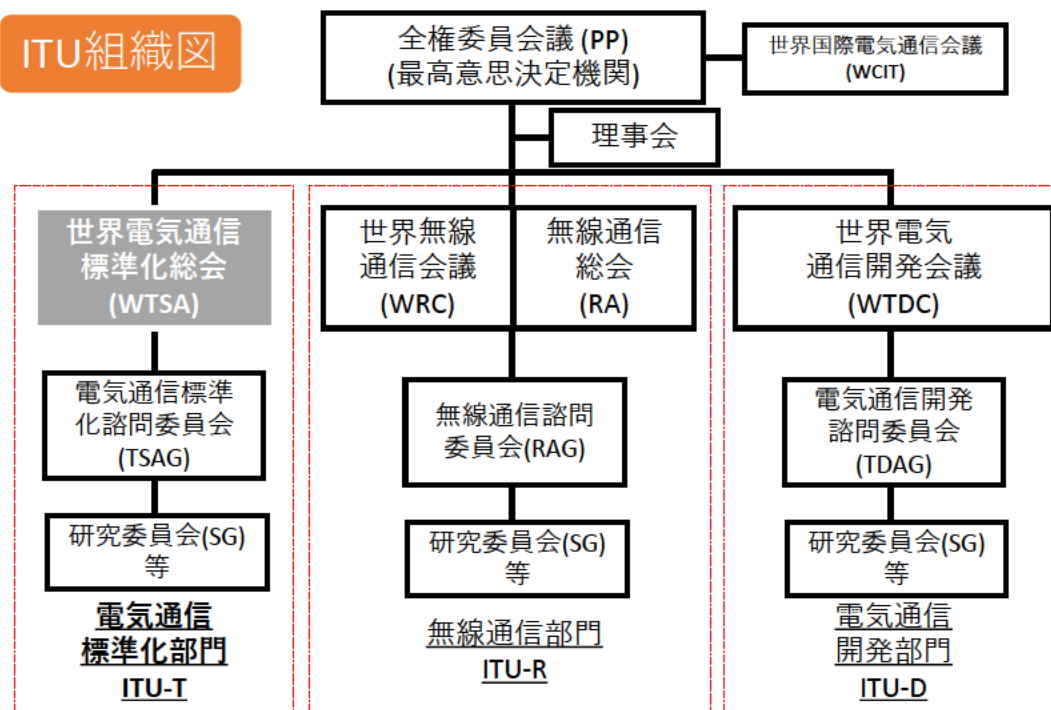
WTSA-20における主な議題

- 次会期における研究体制の決定
- 各研究委員会(SG)議長・副議長の任命
- 次会期の研究課題の承認
- 決議案の承認
- SGから提出された勧告案の承認

WTSA-16の主な結果

- 次期研究会期の研究課題承認：133件
- 勧告承認：7件(新規4件、改訂3件)
- 決議承認：53件(新規16件、改訂31件、廃止6件)
- 各SGの議長・副議長の任命において、我が国から議長2名、副議長6名が任命

ITU組織図



TSAG: Telecommunication Standardization Advisory Group

ITU理事会バーチャルコンサルテーション第2回において、ITU-Tの継続性と安定性確保のため、ITU-T事務局より以下の指針が提示され、議事録に記録された。

1. SG/TSAGの議長及び副議長
 - 現在のSG、TSAGの議長/副議長は、2022年第1四半期のWTSAまで継続【WTSA決議35】
 - 議長が継続できない場合、副議長の中から1名を選出【ITU条約244項】
2. 研究課題の新規設定・改訂
 - すべてのSGは、WTSAへの報告書(研究課題案を含む)を作成済み
 - WTSA間の新規又は改訂研究課題の承認は、現在準備されているSG報告書に基づいて実施可能【WTSA決議1】
 - 2022年第1四半期までの研究期間の延長により、各SGは、WTSA前のTSAGまで作業を継続し、WTSAへの報告書を修正する
3. WTSAからの権限委譲により、研究課題の更新はTSAGで発効することができる。【WTSA決議22】
4. SG再編は次回のWTSAで検討する。
5. 作業方法の更新：TSAGは、Aシリーズ勧告“ITU-Tの作業組織”をレビューし、改訂する権限を有する。【WTSA決議22】
6. WTSA決議の新規設定/修正/削除は、次回のWTSAで検討する。
7. 次々回のWTSAは2024年に開催することが望ましい。

WTSA-20のアジェンダが一部前倒しでTSAGにおいて議論される可能性が出たことから、研究課題の更新に対する対処方針について、2020年12月に一部答申をいただいた。

2021年1月に行われたTSAG会合で、研究課題の更新が議論され、一部答申に基づき対処した。

【開催日程】 2021年1月11日(月)～18日(月)

【開催場所】 リモート開催

【議長】 ブルース・グレーシー氏(カナダ)

【参加者】 我が国からは18名（総務省通信規格課 重野分析官、長屋補佐、天野専門職ほか、NTT、KDDI、NEC、富士通、日立、三菱電機、NICT、日本ITU協会等）が出席。全体で55か国から、297名が参加。

【主な結果】

- WTSA-20の2022年3月への延期合意(延期の正式決定は本年2月の予定)後の最初のTSAG会合
- WTSA-20のアジェンダの一部であるSG研究課題の更新について、前倒しで議論。各SGから合計129件の研究課題が提案され、提案のとおり合意された。今後各SGにおいて研究課題が承認され、新たな研究課題での研究が開始される。
- SG再編に関しては、WTSA-20ではSG構成の変更を行わないことについて、参加者の多くから支持があった。また、次々回のWTSA-24におけるSG再編に向けてコレスポンディンググループを設置し、各SGの活動を分析することとなった。

【今後の予定】

- 次回のTSAG会合は2021年10月に予定されているほか、2022年1月にWTSA開催前最後のTSAG会合が開催される予定
- WTSA-20はハイデラバード(インド)において、2022年3月1日～9日に開催予定。

新規研究課題6件、既存の研究課題の統合等による改訂研究課題26件、継続研究課題97件の合計129件が各SGから次期研究課題案として提案された。基本的に今研究会期の研究課題の継続又は情勢に応じた新規設定・改訂であるため「支持」した。

主な研究課題は以下のとおり。

新規	循環型の持続可能なシティ及びコミュニティの構築 【SG5】
	統合広帯域ケーブル網上でAIを活用した機能拡張 【SG9】
	通信・ICTソフトウェアの模造・改ざん対策 【SG11】
	デジタルファイナンスサービスのQoS及びQoEの知覚及びフィールド評価 【SG12】
	量子関連セキュリティを含むエマージングテクノロジーに関するセキュリティ 【SG17】
改訂	ビッグデータを含むIoT・SC&Cにおけるデータの分析、共有、運用 【SG20】
	気候変動緩和及びスマートエネルギーソリューション 【SG5】
	テレビ、音声番組の素材伝送・一次分配・二次分配 【SG9】
	ベンチマークテストを含む新しい技術のプロトコル、ネットワーク及びサービスのテスト仕様 【SG11】
	パラメトリックモデル及びE-modelによる会話音声及びAV品質プランニング、予測、監視 【SG12】
	光ファイバとケーブルの特性と試験方法及びインストレーションガイダンス 【SG15】
継続	電気通信サービス及びIoTのセキュリティ 【SG17】
	新興デジタル技術で強化された垂直横断的な要件、機能及びアーキテクチャフレームワーク 【SG20】
	固定/携帯電気通信サービスへのナンバリング、ネーミング、アドレッシング、識別子計画の適用 【SG2】
	将来網に関する革新的サービスシナリオ、展開モデル、移行 【SG13】
	人工知能に対応したマルチメディアアプリケーション 【SG16】
削除	クラウドコンピューティング及びビッグデータインフラのセキュリティ 【SG17】
	IoT・SC&Cのアーキテクチャ、プロトコル及びQoS/QoE 【SG20】
	固定回線交換網、移動網及びパケット交換(IP)網の音声端末の音声伝送特性 【SG12】

【参考1】 WTSA-20に向けた検討スケジュール

	2021年												2022年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ITU-T	▲ TSAG 1/11-18 ▲ 地域間会合 1/8					▲ 理事会 6/8-18					▲ 地域間会合 10/15or22 ▲ TSAG 10/18-22 or 25-29		▲ TSAG 1/10-14	▲ 寄書切 2/8	▲ WTSA-20 3/1-9
APT	※2020年11月までに4回開催されたAPT WTSA準備会合で、暫定APT共同提案(PACP)を作成済								▲ 臨時会合 (第3四半期・9月頃)	▲ 共同提案手続き (第4四半期)					
情報通信審議会	▲ ITU部会 2/3 ▲ 電気通信システム委員会 2/16												▲ ITU部会 (12月頃) ▲ 電気通信システム委員会 (11-12月頃)	▲ 技術分科会 (12月頃)	
各SG	SG12:1/6-7 SG17:1/7		SG13:3/1-12	SG16:4/19-30	SG3:5/24-28	SG5:5/11-20	SG9:4/19-28	SG2:5/17-28	SG11:3/17-26	SG12:5/3-14	SG15:4/12-23	SG20:5/17-27	SG17:3/22-4/1 or 4/12-22		
								SG17:8/23-9/2	SG20:9/13-24	SG3:10/4-15	SG12:11/1-12	SG9:11/15-19	SG2:11/29-12/10 or 12/13-23	SG15:12/6-17	

WTSAへの対応方針

